

ニュースパーク（日本新聞博物館）基本的運営方針

ニュースパーク（日本新聞博物館）は、新聞文化の継承と発展を目的に、日本新聞協会が日刊新聞発祥の地・横浜に設置した、情報と新聞の博物館です。

デジタル化の急速な進展により大量の情報があふれる今、私たちには、情報を見きわめる力が求められています。その中で、新聞は長い歴史を通じて、確かな情報を届けるために日々努力を重ねてきました。

当館は、社会教育施設として、資料収集、保管、展示、調査研究、講演会などの開催や学校教育との連携その他教育普及活動などを通じ、情報社会の実相と新聞・ジャーナリズムの役割について紹介し、メディア情報リテラシーの学習に資する活動を行うことを目指します。また、地元・横浜市をはじめ地域振興にも貢献します。SNS 社会で情報の分断が進む中、新聞メディアの特性を生かし、さまざまな世代、属性の人がともに学べる場所になることを目指します。

1. 資料の収集・保存

新聞社や報道機関の活動を伝え、後世に社会情勢や報道活動の記録を伝えるために、新聞紙面をはじめ、新聞・通信社を中心に報道機関のあらゆる活動に関わる資料を収集・保存します。また、SNS 時代の情報流通をめぐる資料も収集・保存します。具体的な収集・保存の方針は「基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針」に定めることとします。

2. 展示

当館が所蔵する約 20 万点の資料を活用し、次のような展示を行います。

常設展示は、新聞・ジャーナリズムが果たす役割を歴史的資料や体験型展示で学べる内容とします。「新聞のあゆみ」「情報社会と新聞」「新聞を知ろう」の 3ゾーンを設定し、最新の研究成果を取り入れ、所蔵資料を活用し、来館者が情報と新聞について歴史と現在の姿を学べるようにします。変化の激しい情報社会の実相も伝えます。

企画展示は、時宜を得たテーマを設定し、所蔵資料と、他館や協力者から借用した資料等を活用し、来館者や新聞・通信社など報道機関等の関心に応える内容を目指します。

新聞閲覧室では、新聞協会会員新聞を配架し、来館者が手に取って読めるようにします。

所蔵資料データベースを活用し、展示物や説明の一部は、インターネットを通じて閲覧できるようにします。

3. 調査研究

所蔵資料に関し、学芸員を中心に適宜調査・研究を行い、展示や教育普及活動を充実させます。また、大学や外部の研究者と連携した調査も適宜行います。所蔵資料に関する調査・研究成果は、データベース等に蓄積し、活用や継承に役立てます。

4. 教育普及

企画展のテーマに沿った講演会やシンポジウム等を開催し、来館者の知的好奇心に応えるとともに、テーマに対する考察を深め、共有する場とします。

日本新聞協会や新聞・報道関係機関の活動と連動し、新聞協会賞受賞記者講演会をはじめ、情報社会の姿と新聞・ジャーナリズムの役割、記者の活動を広く知ってもらう機会を設けます。

大学や外部機関とも連携し、メディア情報リテラシー教育や新聞を使った学びを实践、学校教育やその他教育活動に貢献するとともに、成果を共有します。そのために、学校向け団体プログラムや親子向けプログラムを開発・提供します。

新聞記者経験のある新聞制作マネージャーらによるマイ新聞づくりなど、体験プログラムを実施します。

適宜、学芸員や職員による展示解説を実施し、来館者の関心に応えます。

上記の活動は、館内での実施にとどまらず、学校や自治体機関等の求めに応じて出講するとともに、インターネットを活用した形でも実施します。

5. 地域貢献

新聞発祥の地・横浜にある博物館として、横浜市内や神奈川県内の博物館・文化施設等とも連携し、地域社会・市民の活動に貢献します。

2022年の博物館法改正の趣旨にのっとり、自治体や学校、社会教育施設、その他の関係機関、民間団体といった多様な主体と連携・協働し、文化・観光に関する活動を推進し、地域の活力の向上に役立つ活動を行うことを目指します。

以 上